

令和元年度防府市産業戦略本部 第1回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和元年5月28日（火）午後6時00分から午後7時45分まで
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - （1） 令和元年度産業戦略本部関係予算の執行状況について
 - （2） 産業戦略に関する意見交換
- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名	番号
1	防府市産業戦略本部 本部委員名簿	【資料1】
2	産業戦略本部関係予算概要（抜粋）	【資料2】
3	取組状況等資料	【資料3】

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別		所属団体・役職	名前	出欠
本部長		防府市長	池田 豊	出席
本部 委員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	黒瀬 智彦	出席
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	後藤 淳	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	欠席
		東海カーボン株式会社 防府工場 研究所長 工場長	灰野 和義	欠席
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	出席
	中小 企業	王子ゴム化成株式会社 執行役員 管理部長	末松 元成	出席
		東山口信用金庫 本店 本店長	守田 誠	出席
		有限会社周防タクシー 総務部長	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		原田株式会社 代表取締役	原田 栄造	欠席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係 団体	防府商工会議所 会頭	喜多村 誠	出席
		天神銀座商店街振興組合 理事長	坂本 恵次	出席
事務 局	本部	総合政策部 部長	小野 浩誠	
		地域交流部 部長	島田 文也	
		産業振興部 部長	赤松 英明	
		土木都市建設部 部長	佐甲 裕史	
	庶務	総合政策部 部次長	藤井 隆	
		総合政策部 政策推進課 課長	杉江 純一	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	金子 照	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係長	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	岩田 宏美	
		総合政策部 政策推進課 政策推進係 主任	宗岡 孝俊	

■会議録

1 開 会

市長挨拶

2 本部委員紹介

(事務局から各本部委員の紹介)

3 中小企業サポートセンター開設について

(産業振興部長から説明)

4 各本部委員による意見

本部長	最初に、防府市中小企業サポートセンターについて意見を伺いたい。
A委員	今回設立する中小企業サポートセンターの特色は「ワンストップ」、「ここにくればあらゆる課題を解決できる」である。事業承継・創業、IT/IOT・キャッシュレス・販路拡大、税務・労務等の様々な悩みを持つ、様々な業種の人たちが集まる場所が商店街の中にできる。相談対応のほかに、補助金等の支援情報の紹介も行っていく。金融機関出身のセンター長、経験豊富な創業アドバイザー、民間企業出身の情報発信担当の3名のスタッフで様々な役割を果たしていきたい。多くの方に相談に来てもらいたいと思っている。
B委員	中小企業支援で最も必要なのは連携だと考えている。お互いに情報共有しながら対応していきたい。中小企業サポートセンターの業務のなかでは、情報発信に一番興味を持っている。 中小企業への支援情報を一元管理して発信できるようになれば大変良い。
C委員	創業して6年目。創業時のサポートは大変しっかりしていて有難かった。創業してからサポートについては、もう少し手厚いものがあると良いと思う。事業を継続していくことが本当に大変な時代になっている。そのような時代の中小企業支援では、例えば創業して5年目までの事業者だけが出店できるマルシェのような、多くの人に直接PRできる機会の提供があれば良いと思う。そのようなイベントを開催し、情報発信していけば、UJI ターンや移住につながると思う。
D委員	中小企業サポートセンターで事業継続をサポートしてもらえるのは有難い。代々製造業を営んできたが、今度、サービス業に進出したいと思っている。新しい事業を始めるにあたり、どのようにノウハウを得ようかと思っていたところに、様々な相談ができるサポートセンターができ、安心しているところ。ぜひ活用したいと思っている。

本部長	委員から創業後の支援が必要との話があった。中小企業サポートセンターではしっかりと創業後の支援をしていく。中小企業支援制度の話があったが、市内の事業者のなかには市の助成制度しか知らない人もいる。国や県には、補助上限額や補助率が有利な制度があるので、サポートセンターでぜひ紹介していただきたい。また、同センターは商店街に設置されるので、多くの人が商店街に来て、商店街が元気になればと思っている。
A 委員	相談数が増えて、中小企業サポートセンターにノウハウが蓄積できると、さらに良い支援ができると思う。そのためにも、しっかりアピールしていく。
E 委員	中小企業サポートセンターの資料で KPI が示されているが、経営相談回数、創業相談回数、セミナー参加人数等のプロセス指標が多いと思う。中小企業の経営状態がどのレベルまであがる、生産性がどうあがる、人員の確保の状況がどう改善する等の、結果指標が必要なのではないか。プロセスと結果、双方のバランスが良い KPI を持つことが大事な視点だと思うので、提案させていただいた。
F 委員	中小企業サポートセンターは街中にあるので、気軽に立ち寄れる場所になると思う。サポートセンターに来る人には、商売の先輩である商店街の人たちの支援を仰いでほしい。彼らはそれぞれがノウハウを持っている。皆で一体となって、一緒になって頑張っていくことが大事。また、サポートセンターには、やまぐち産業振興財団や山口県商店街振興組合連合会が持つ、空き家や空き店舗の情報を活用してほしい。
本部長	続いて、観光について意見やアイデアを伺いたい。
D 委員	海外からの観光客を呼び込みたいと思っている。そのための環境整備として、案内サインの設置やフリーwi-fi の増設等が必要と考えられる。商工会議所から体験型の観光ができないかと相談を受けている。名所巡りだけでなく、様々な体験をすることができれば、1 度きりでなく 2 度、3 度と来てもらえるようになると思っている。また、SNS の活用について、日本語で発信すると対象者は日本人のみ。様々な言語で発信することが大事で、海外からコメント付きで反応が返ってくることもある。
F 委員	以前商店街の中で空き店舗を活用する取り組みをしたことがある。防府で芸術や工芸に携わる人を支援しようと、商店街の空き店舗を借りて、絵、陶芸や版画をする人など 6 人くらいに集ってもらい、芸術的な活動をしてもらった。残念ながら 1 か月くらいで撤退となったが、まずは、色々なことにチャレンジすることが大事と思う。
G 委員	観光について、今の時代は間違いなく「インスタ映え」が求められている。「映えるもの」を定期的に作り、名所を巡らせ、人の流れを作ることが良いと思う。具体的には、防府天満宮の階段と駅をつなぐ名所を作り、人が歩く流れを作ると良い。インバウンド需要を得るために SNS による発信は必須だが、言語の問題がある。例えば、防府の写真を発信するとき、日本語だけではなく、英語、中国語、韓国語で発信できる仕組みを構

築できればと思う。

中小企業サポートセンターの話に戻るが、事業者にとって一番の問題は何が問題なのか分からないこと。サポートセンターで何が問題なのか分かる状態にしてあげることが大切だと思う。

B 委員

キャッシュレス決済の環境整備をすれば、インバウンドに弾みがつくと思う。特区のようなものを作って、お土産の購入や拝観料の支払いをキャッシュレスで対応できるようにする等のアイデアがある。キャッシュレスにも多くの種類があるので、上手に活用してはどうか。

A 委員

これまでの意見に関連して申し上げるが、商工会議所は頑張る企業を応援する。自社の何が問題なのか分からないうえに相談もしないでは、将来生き残っていけるのかと思う。そのような企業までサポートできない時代になりつつあるのではと思っている。

H 委員

防府観光で「食べ物」を問われたとき、思い浮かぶものはあまり無いと思っていた。そんな中、観光コンベンション協会が「鰻」を PR していくと聞き、私が所属する青年会議所では、6 月 9 日に「“ハモ” フェス」という事業を企画している。このなかで、「ハモカイト」という 30 m くらいの長さの凧をあげて、それをフォトコンテストの題材にし、参加者一人ひとりに SNS で情報発信してもらおうと思っている。このような情報発信が防府の観光を盛り上げるために大事ではないかと考えている。

I 委員

SNS で発信した情報をきちんと受け取ってもらうためにはどうすればよいか考えないといけない。発信している情報が単独で存在している状態ではなく、防府全体の情報がつながっている状態ができれば良いと思う。なかなか難しいことだと思うが、様々な情報を、ひとつひとつで打ち出すのではなく、そこにつながりをもたせることは、防府市全体を知ってもらううえで重要ではないかと思う。

本部長

A 委員に中心市街地の話をお願いしたい。

A 委員

今、中心市街地はどこも同じような課題を抱えている。少子高齢化で人口がどんどん減る中で、中心市街地に居住、購買、教育、医療等の機能を集積させて、コンパクトシティ、効率の良い街をつくっていく必要がある。我々は、防府駅-ルルサス-アルクから天満宮へのエリアを活性化させていこうと、平成 28 年の 8 月から中心市街地活性化協議会で様々な取り組みをしている。

また、今回、商工会議所に、「まちづくり戦略会議」を設置し、同協議会とは別の視点で取り組みを進めていこうと考えている。ルルサスから旧国道 2 号線にかけて道幅の広い道路ができることによって、中心市街地が活性化していくと思っている。

本部長

安心安全なまちづくりや道路の問題に関して、渋滞の話を知りたい。新原委員に現場の意見を伺う。

H委員	渋滞の状況だが、総合医療センター周辺、浜方、椿峠、台道の小俣のあたりが時間帯によっては渋滞している。これからバイオマス火力発電所や、農業試験場が来るので、さらに混雑すると考えている。これからの未来を見据えて、どのように社会貢献していくか、そこに自社が発展する要素があると思っている。
本部長	国道2号線について、椿峠は整備がかなり進んでいる。台道については、昨年の年末に山口市と期成同盟会を結成し、合同で早期事業化を要望した。総合医療センター周辺は、県、市、総合医療センターで渋滞解消の研究を行っている。中心市街地の渋滞についても、今しっかりと考えているところ。道が良くなることで防府にいろいろな企業が来ると思うので、どうにかしていきたいと思っている。 引き続き、まちづくりの観点からの意見を伺いたい。
J委員	他市で開催しているイベントに比べて防府市でのイベントは見劣りしていると思う。イベントに対する援助などが必要と思う。
本部長	イベント補助金があるので、まちが元気になるイベントのアイデアを出してほしい。
K委員	中心市街地の店舗について、モノを消費する時代からコトを消費する時代へ変化してきたと言われるなか、次世代商業施設のコンセプトをまとめながら、コンパクトシティづくりのなかでの同店位置づけについてしっかり考えていく。周辺商店街の活性化に繋がる形となるよう、皆さんからの意見を参考にしながら計画を進めたい。
C委員	先ほどのマルシェの件になるが、防府は大きい工場が多くあるので、そこでマルシェができると良いと思う。マルシェで地域のお店を知ってもらい、休みの日にそのお店に行ってみる。そのような、働いている場所での楽しいイベントを通じて、防府市の良いところを知ってもらうまちづくりも良いと思う。
本部長	とても良いアイデア。マルシェ開催が実現してほしい。 続いて、外国人就労者について、抱えている課題や意見、アドバイスを伺いたい。
K委員	住居確保が課題で、近隣とのトラブルが発生しないように配慮が必要。これから外国人就労者が増えてくれば、専用のアパートを確保することを検討しなければならない。また、弊社が採用しているのはベトナム人だが、親日家で勤勉な国民性なので、勤務時間中はそれほどサポートが必要では無いが、私生活面でのメンタルサポートが必要。そのため、日本語の達者なベトナム人留学生を正社員として採用し、各店舗で働くベトナム人のメンタルケアを担当してもらっている。
E委員	当社の場合は、現地工場のリーダー格の社員に防府工場で1年ほど頑張ってもらいながら、様々な技能を学んでもらい、現地に戻ってからリーダーとして他の社員に技能を伝えてもらうという仕組みを持っている。現在は、メキシコ、タイの2か国から

受け入れている。住居については幸いに社員寮があるので、問題となっていない。彼らには、休日に日本文化を十分に楽しんでもほしいと考えているが、彼らが中心市街地に行こうにも、自転車が主な移動手段であり、工場からの公共交通機関も利用しづらい所があるため、なかなか難しい。彼らにもう少し日本文化を感じてもらい、彼ら自身が SNS 等で防府はこんなに素晴らしいところと情報発信してくれればと思っているのだが。

J 委員

外国人研修制度を利用することについて、法律が今年から変わり、入国管理局の手続きが煩雑となった。少し緩和されると助かる。また、外国人に対する心のケアは大事。外国人就労者が心を開いて話せるような環境を作らなければ、孤立して問題が起きる可能性がある。そこは気を付けられた方が良くと思う。

本部長

手続きの複雑なことについて、機会があれば関係機関に伝えていきたいと思う。最後にお話ししたいことがないでしょうか。

A 委員

道路を中心に産業インフラを整備し、「防府は物流効率の良い街」と PR すれば、さらなる企業誘致につながる。防府の地区はまだまだ発展の余地があると思うので、中心市街地の道路も含めて、事業推進をお願いしたい。

本部長

道路整備をすれば、様々なコストが大きく下がると感じている。一方で考え方を変えれば、道路が必要となるまちづくりをしなければならないと思っている。財源に限りがあるという制約は当然あるが、国や県にお願いしながら、市でできることはしっかりやっていきたいと思っている。

本部長

本日いただいたご意見を、行政の参考にさせていただく。引き続き、よろしく願いしたい。

閉会